洋野町商工会 | 株式会社みちのくクックサービス（小売業）

支援テーマ
創 経 源 農 販
海 再 承 も 雇
資 持 他

商品宅配サービスを開始して地域の「買い物弱者」に貢献

課題 買い物の困難さを解決し、利便性を向上させたい

洋野町大野地区の中心に位置するみちのくクックサービスは、地区唯一のスーパーマーケットである。同地区では65歳以上の高齢者人口の割合が31%で全国平均の26%よりも非常に高く、街まで出かけることが困難な「買い物弱者」人口が高齢化とともに増えている。そこで同店では買い物弱者を救うべく宅配サービスの検討を始めたものの、対象となる高齢者世帯の把握、ニーズ、採算性の確保がつかみきれず、どういうかたちで実施するのがいいのか迷っていた。

支援 専門家による戦略立案、調査や補助金申請

洋野町商工会は新事業を支援するにあたって、まずは社会福祉協議会と連携し、高齢者世帯数の調査を行い、マーケットサイズを把握した。さらに、店を利用している65歳以上の高齢者に対してアンケートを実施し、移動手段や買い物頻度、宅配サービス利用希望の有無などを調査することにより、同店が目指すべき事業の方向性を明確にした。

宅配サービスにはいくつかの付帯サービスを検討した。そのひとつが「お店箱」という置き箱販売である。これは家庭で必要と思われる品物や量、季節性商品を選別しておき、3日ごとに消費した量だけの代金を支払うシステムであり、利用者には「いつでも必要なときに使えて便利」「使っただけ支払うからお得」、同店には「機動性の高い営業展開」「顧客密着性」のメリットがある。テスト販売も好評だったため、取り組むことになった。宅配方法には2種類が検討された。電話注文で商品を配達するサービスと、店舗での買い物商品を自宅に配達するサービスである。テスト販売が好評であったことから双方とも実施の方向とした。配達日は週3回、配達時間は午後2時から4時、1回200円の配送料金で、配達エリアの1025世帯が対象となる。高齢者の生活不安を減らすため、宅配時には安否確認も行うことにし、地域への貢献度を高めることにした。

商工会の支援により採択となった小規模事業者持続化補助金により、配達用の軽自動車を購入することができ、事業の実現へ向けて弾みをつけることにつながった。

商工会はさらに経営革新計画策定もバックアップ。事業者は「データの把握や新サービスを検討する際のさまざまな気づきは、商工会や専門家のアドバイスや議論がなければできなかった」と支援の存在を実感している。

商品配達の際、利用者と交わす会話も重要なサービスのひとつ

支援の経過

期 間	支援内容
H27年3月～	巡回による課題の把握
5月～	新事業の検討
6月～	持続化補助金の申請支援
7月～	経営革新計画の策定支援 マーケット調査
8月～	アンケート調査の実施 テスト販売の実施
11月	経営革新計画承認

経営支援スタッフから

初めて事業者の経営課題の掘り起こしから戦略立案、事業計画策定まで、指導員や専門家の指導のもと行うことができました。とくに新しい取り組みである「お店箱」はアンケート調査の実施や商品の見せ方など、さまざまな試行錯誤がありましたが、事業化のめどがつきました。今後も事業実施に向けて支援をしていきたいと思います。

洋野町商工会
沼田 加奈子さん